

課題を分担し、個人で主体的に、チームで協働的に学ぶ

# 分担学習 (ジグソー法)

評価基準



学習者と一緒に

知識  
技能

思考判断  
表現

学びに  
向かう力

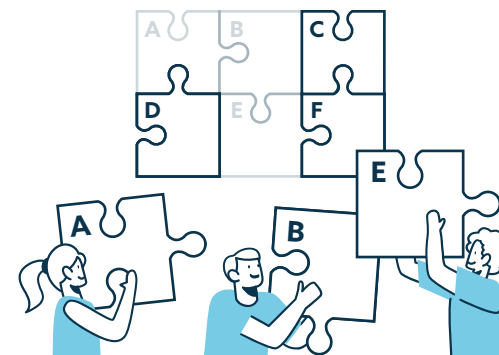
## 概要

一つの学習課題について、学習者はまず自分の担当箇所について理解を深め、他を担当した仲間とそれぞれ説明し合います。それらを関連付け更に考察を進めた後、クラス全体で発表・意見交流し、最終的な自分の考えをまとめます。

## 導入効果

- 1 学習者が主体的に担当課題に取り組みつつ、全体の学びの深まりに貢献できる
- 2 効率的に知識を習得し、個人・グループ・クラスで対話的に学ぶことに注力できる
- 3 ICTを用いることで個人・グループで行う作業を効率的に進めつつ、常に進捗確認ができる

1人ひとりの学びを持ち寄り、全員で理解を深める



考察・まとめ

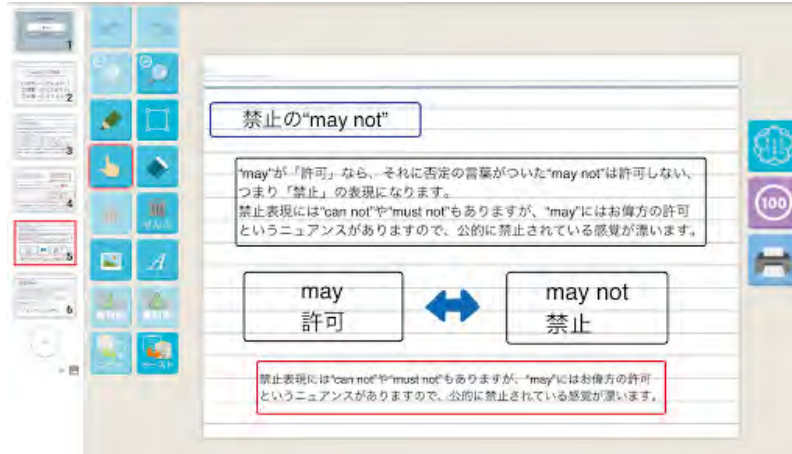


課題を分担し、個人で主体的に、チームで協働的に学ぶ  
分担学習（ジグソー法）

## 実施STEP



## 中学校・高校/英語での活用事例『最強のノートを作ろう!』



### 取り組み概要

助動詞を担当分けて、各自がスクールタクト上にまとめキャンバスを作成。各助動詞について「いいね」が一番多くもらった学習者のキャンバスをPDFにして、クラスの「最強の助動詞ノート」を完成させ全体共有資料にする。

### 学習者の声

- 「自分で調べることで、しっかりと記憶に残った」
- 「他人のキャンバスを見てまとめ方が分かった」

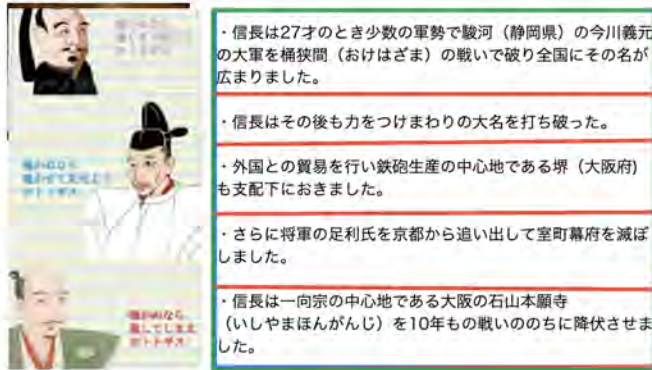


### 工夫と効果

「共有する」という作業において、スクールタクト無しでは実現することが出来なかった取り組みでした。  
また、作成中のキャンバスをリアルタイムで確認することができるため、間違いがあれば教員が共有前に訂正を指示することができました。

## 小学校6年/社会での活用事例『信長・秀吉・家康と天下統一』

め 天下統一をめざした織田信長の考えや行動をわかりやすくまとめよう！



- ・信長は27才のとき少数の軍勢で駿河（静岡県）の今川義元の大軍を桶狭間（おけはざま）の戦いで破り全国にその名が広まりました。
- ・信長はその後も力をつけまわりの大名を打ち破った。
- ・外国との貿易を行い鉄砲生産の中心地である堺（大阪府）も支配下におきました。
- ・さらに將軍の足利氏を京都から追い出して室町幕府を滅ぼしました。
- ・信長は一向宗の中心地である大阪の石山本願寺（いしやまほんがんじ）を10年もの戦いののちに降伏させました。

### 取り組み概要

学習者は織田信長・豊臣秀吉・徳川家康についてそれぞれグループで分担して調べ学習をし、学んだことを発表し合う。

その上で、政策のねらいやそれぞれの願い、天下統一にどのように貢献したかなど、違いについて比較して話し合い、1枚のキャンバスにまとめる。



### 工夫と効果

調べるものは教科書・資料集のほか、ポプラディアネット、インターネット検索など、自由にしました。

キャンバスに各学習者の個性が出るため、コメントでも対面でも質問や「そうだったんだ!」「このまとめ分かりやすいね」などのやり取りが、活発に行われます。

スクールタクトは、「他者の視点から学ぶ」ということが、とてもしやすいツールだと感じます。